

# 衆議院農林水産委員会ニュース

平成 21.3.19 第 171 回国会第 4 号

3 月 19 日（木）第 4 回の委員会が開かれました。

## 1 米穀の新用途への利用の促進に関する法律案（内閣提出第 28 号）

米穀等の取引等に係る情報の記録及び産地情報の伝達に関する法律案（内閣提出第 29 号）

主要食糧の需給及び価格の安定に関する法律の一部を改正する法律案（内閣提出第 30 号）

・参考人から意見を聴取し、質疑を行いました。

（参考人）畜産・飼料調査所主宰 阿部 亮君

遊佐町飼料米生産者リーダー 今野 進君

新潟製粉株式会社工場長 藤井 義文君

常盤村養鶏農業協同組合代表理事組合長 石澤 直士君

・石破農林水産大臣及び政府参考人に対し質疑を行い、質疑を終局しました。

・宮腰光寛君外 3 名（自民、民主、公明、社民）提出の に対する修正案について、提出者筒井信隆君（民主）から趣旨説明を聴取しました。

・及び について採決を行った結果、いずれも全会一致をもって原案のとおり可決すべきものと決しました。

（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

・ に対する修正案について採決を行った結果、全会一致をもって可決されました。

（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

・ に対する修正部分を除く原案について採決を行った結果、全会一致をもって可決され、本案は修正議決すべきものと決しました。

（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

・3 案に対し宮下一郎君外 3 名（自民、民主、公明、社民）から提出された附帯決議案について、宮下一郎君（自民）から趣旨説明を聴取しました。

・採決を行った結果、全会一致をもってこれを付することに決しました。

（賛成 - 自民、民主、公明、社民）

（質疑者及び主な質疑内容）

（参考人に対する質疑）

### 木村 太郎君（自民）

・飼料用米を利用して生産した畜産物の品質特性について、阿部参考人及び石澤参考人はどのように考えているか。

・飼料用米の品種について、今野参考人は現在ある品種で十分と認識しているか。もしくは、どのような品種を望んでいるか。

・国産の新規需要米の生産・利用拡大を推進していくために必要な仕組み、支援について、各参考人はどのように考えているか。

### 筒井 信隆君（民主）

・配合飼料に係るトレーサビリティの徹底と製造過程における HACCP 対応の必要性について、阿部参考人はどのように考えているか。

・持続可能な飼料用米生産に必要な支援の在り方について、今野参考人及び石澤参考人はどのように考えているか。

・現在の製粉技術の状況及び将来の製粉技術と当該技術を利用した商品の展望について、藤井参考人はどのように考えているか。

### 西 博 義君（公明）

・米穀や食品残さを利用した配合飼料を推進するに当たって、食品残さに含まれる塩分の影響について、阿部参考人はどのように考えているか。

・米粉の需要について、藤井参考人はどのように見通しているか。

・米粉・飼料用等の新規需要米の生産拡大に向けて、主食用米の生産を重視する生産者の意識を転換することが必要と考えるが、どのようなきっかけで今野参考人及び石澤参考人は飼料用米生産に取り組むこととなっ

たのか。

### **菅野 哲雄君（社民）**

- ・飼料用米利用拡大に向けて、生産から消費までの連携体制を構築するに当たり、阿部参考人はどこがイニシアチブを取ることが重要と考えるか。
- ・飼料用米を生産拡大していくための課題について、今野参考人及び石澤参考人はどのように考えているか。
- ・小麦との価格競争がある中、米粉の利用拡大に向けて藤井参考人はどのように考えているか。

（政府に対する質疑）

### **木原 稔君（自民）**

- ・トレーサビリティ及び原材料原産地情報の伝達の義務付けの対象品目を拡大することが、事業者にとって過度の負担となるだけでなく、商品価格に転化され消費者負担につながりかねないとの懸念について、どのように考えているか。
- ・米穀の新用途利用拡大に向けた農商工連携の推進についてどのように考えているか。
- ・米穀の新用途利用拡大に当たっては、コスト削減が課題と考えるが、多収品種の開発の状況と今後の見通しはどうなっているか。

### **笹木 竜三君（民主）**

- ・米穀以外の飲食料品にトレーサビリティを義務付けることについて、農林水産大臣はどのように考えるか。
- ・トレーサビリティを義務付ける対象品目をどのような工程で拡大していく考えか。
- ・米穀の新用途への利用の促進に関する法律案の対象にバイオ用米を位置付けることについて、農林水産大臣はどのように考えるか。

### **佐々木 隆博君（民主）**

- ・米粉・飼料用米について、麦、大豆との関係を踏まえどのような優先順位で生産振興を図っていくのか。また、食料自給率目標の達成に向けた生産を確実に担保していくことが必要ではないか。
- ・米粉の普及に当たっては、地域ブランド化を推進するため、地域の機械メーカー等による製粉機械の開発の取組等に対して支援していく必要があるのではないか。
- ・米穀の不正規流通の防止に係る農林水産大臣の権限を都道府県知事に委任することができることとしたことは、国の責任の後退ではないか。